



第 7 号
2016年 5月 30日発行
名古屋高校3年学年会
<http://www.meigaku.ac.jp>
052-721-5276

「わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。(ローマの信徒への手紙 5:3-4)」

部活動を終えた人へ

「引退」という文字が頭によぎる中、最後の試合を戦ったり、応援したりする中で誰しもが部活動からの引退を迎える。多くの高校3年生のこの時期に訪れる大切な瞬間です。今まで応援し続けてくれた親、支えてくれた友人、後輩、監督、コーチ、顧問の先生への感謝の気持ちで一杯になる瞬間です。涙を流す人も多くいると思います。その気持ちをいつまでも忘れることなくここから続く人生への糧にして欲しいと思います。

その後受験勉強に向けて本格的にシフトチェンジをしていこうと考えている人へのメッセージだと思って読んでください。

①部活を引退＝勉強の時間がたくさんある！

と思っている人もいるでしょう。実際に時間は増えるでしょう。ただしその時間をどう扱うかを具体的に考えていない人がほとんどだと思います。部活動の一つの意味は、「集中力を養うこと」と考えることができます。集中力を持って勉強に臨むには綿密な計画が必要です。練習試合や予行演習がなければ本番で活躍することは不可能です。いつ、どこで試合を行うかといった計画は非常に大切です。漫然と勉強しようとするだけでは①の気持ちは1週間で消えてなくなるでしょう。平日5時間、休日10時間を目標に、その細部までにこだわった計画を1週間ごとに立てながら毎日を過ごさなければなりません。

②部活を引退＝食事の量を変える！

特に運動系の部活動を行ってきた人への話になります。部活動を引退した瞬間に体重が増加する人がいます。緊張感からの解放だけで体重が増加するわけではなく、食べる量と消費量との関係が崩れれば、それに比例して体重は増加します。これまでは十分すぎるほどに消費カロリーが上回っていたところに来て、引退を迎え消費カロリーが激減することにより余剰分が脂肪となるのです。時間ができたことにより間食をしたりすることも増えるでしょう。身体が資本の受験勉強です。体調管理の観点からもオーバーウエイトは禁物です。

③部活を引退＝後輩へのバトンタッチ！

思い出は美化されます。勉強に行き詰った時に自分の過去の姿は美しく思い出されるものです。そして可愛い後輩たちは先輩を温かく迎え入れてくれるものだと確信している人もいるかもしれません。そん

な思いを持ちながら後輩指導と称して部活に顔を出す人も多いと思います。先輩たちを見る目は果たしてポジティブなものだけでしょうか。先輩たちが抜けて「自分たちの代」になって喜んで活動をしている後輩も多くいます。そこに良かれと思って顔を出していると、もしかしたら疎ましく思われていることもあることを自覚する必要があります。遠くから見守ることの大切さ、本当に必要な時に差し出す救いの手が後輩には必要なのではないのでしょうか。さあ君は受験生！

部活動を続ける人へ

夏の初めに行われる大会や試合を目指す人、秋の国体に出場する人、最大の大会が冬に行われる競技の人(ラグビー、バスケット、サッカー)にとってはまだまだ道半ばといった時期かもしれません。ただし周りを見渡すと総体を終え引退をしている友人を見て少なからず焦りを感じている人もいるでしょう。そんな人へのメッセージだと思って読んでください。

①伸びる時期は高3の夏休み！

高校3年生は最上級生です。ただし年齢的にはまだ17歳から18歳。これから25歳までにかけて爆発的に体力が伸びる時期です。大人の身体になります。その出発の時期が今です。経験から感じることは、高3の夏が一番プレーの質や人間性が伸びると感じています。色々な要因が考えられますが、やはり身体的に自分を表現することが体力の伸びとともにできるようになることと、精神的にも「覚悟」を持っていることです。追い込まれた人間程強いものはありません。それが精神的に大人にさせる要因です。

②焦る気持ちはみんな同じ！

部活動からの引退はすべて「成績向上」を意味するものではありません。高校3年生は全員が五里霧中。時間をいかに効率良く使うのかは人生の課題です。大人も子供も一日24時間に変わりはありません。勉強だけをすればよいとはなりません。むしろ限られた時間の中をどう充実させることができるかは大人になった時にも役立つ考え方だと思います。

③高みを目指せ！

「右向け右」と言われたら大多数は右を見ます。それも悪くはないですが、何かとんでもないことを成し遂げる人は「右向け左」かもしれませんね。勉強でも日本一、部活動でも日本一。そんな偉業を達成できる人は限られています。少数派は味方が少ないものです。それが少数派の良いところです。常識を疑い自分の理想を追求して誰も見ていない高みを見る人は今これを読んでいるあなたではないのでしょうか。

今後の予定

6月 1日(水)	B週・高校一斉朝礼
4日(土)	学校休業日(PTA総会 10:30~)
8日(水)	A週
9日(木)	進研マーク模試【~6/10(金)】

出題範囲と出題方針

- 出題範囲は、履修形態や進捗状況についてのアンケート結果に基づいて決定しています。
- 試験の公平性の見地から、出題範囲の取り扱いには十分ご配慮ください。
- 出題範囲とは、各教科・科目とも出題の対象となる範囲のことをいい、含まれるすべての分野・内容を出題するというものではありません。

出題教科	出題科目・範囲		出題方針
国語	国語	国語総合 ※漢文を除く受験も可能。	センター試験に準拠して、評論の漢字や小説・古文の語句の意味、漢文の句法などの基本事項や読解問題などを出題します。なお、入試で漢文を必要としない生徒向けに、現代文の選択問題も用意しています。
数学	数学① (数学Ⅰ, 数学Ⅰ-A)	数学Ⅰまたは 数学Ⅰ・数学A ※数学Ⅰは全範囲 ※数学Aは3項目(場合の数と確率、整数の性質、図形の性質)のうち、2項目を選択	センター試験で出題される範囲(数学Ⅰ, A, Ⅱ, B)から幅広く出題します。また、各大問の前半では基本事項を確認する問題、後半ではやや応用力を要する問題構成にしており、これまでの学習の定着度を測ることができます。
	数学② (数学Ⅱ, 数学Ⅱ-B)	数学Ⅱまたは 数学Ⅱ・数学B ※数学Bは3項目(数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測)のうち、2項目を選択	
英語	英語【筆記】	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、 英語表現Ⅰ	英語【筆記】は、センター試験に準拠した形式で出題します。文法・語彙語法など基本事項から読解問題まで、幅広く出題します。英語【リスニング】は、センター試験に準拠した形式で出題します。
	英語【リスニング】※1		
理科 ※2	物理基礎	物理基礎全範囲	センター試験の出題形式に準拠し、現時点での学習到達度を測ることをねらいとしています。各分野の重要事項を中心に、センター試験で必要とされる幅広い項目の理解を問う出題を行います。
	化学基礎	化学基礎全範囲	
	生物基礎	生物基礎全範囲	
	地学基礎	地学基礎全範囲	
	物理	運動と力、仕事とエネルギー、波(物理基礎範囲)、力学、波動(光の回折と干渉を除く)※力学に熱力学は含まない。	
	化学	化学基礎全範囲、物質の状態、化学反応とエネルギー、化学平衡	
	生物	生物基礎全範囲、細胞と分子、代謝、遺伝情報の発現、有性生殖、動物の発生	
地学	地学基礎全範囲、地球の形状、地球の内部、地球の活動		

※1 英語【リスニング】における問題部分の音声の所要時間は約29分です。
※2 理科は、「物理基礎」と「物理」などの同一名称科目の組み合わせでの受験も可能です。

●選択問題● 詳細は問題冊子をご参照ください。

教科	科目・コース	選択問題	教科	科目・コース	選択問題
国語		大問4, 5 ⇒ 1題を選択	数学①	数学Ⅰ	全問必答
英語		全問必答		数学Ⅰ-A	大問3~5 ⇒ 2題を選択
理科	全科目	全問必答	数学②	数学Ⅱ	全問必答
				数学Ⅱ-B	大問3~5 ⇒ 2題を選択

出題教科	出題科目・範囲		出題方針
地歴	世界史B	①諸地域世界の形成～アジア諸地域世界の繁栄と日本まで (ヨーロッパ:中世まで インド:ムガル帝国まで 中国:清(乾隆帝)まで イスラーム:オスマン帝国・サファヴィー朝の発展まで) ②ヨーロッパの拡大と大西洋世界(ルネサンス以降)～第二次世界大戦まで ③諸地域世界の形成(オリエン文明, 地中海文明, インド文明(ヴァルダナ朝まで), 中国文明(漢まで), 南北アメリカ文明) ①・②いずれか1つのコースを選択してください。 ※①は年代の古い順からの履修に対応, ②は近代からの履修に対応。	センター試験に準拠し、マーク式の設問形式に慣れることをねらいとしています。設問内容は、実施時期に合わせて基本事項を中心に、日頃の授業の成果を測ることに重点を置いています。また、学習の動機づけになるよう、図版や史料などを使った問題も出題します。
	日本史B	①日本文化の黎明～産業経済の発展と幕藩体制の変容(17世紀・元禄文化)まで ②日本文化の黎明～中世社会の展開(戦国大名の登場)まで ③日本文化の黎明～中世国家の形成(院政期)まで ④明治維新と立憲体制の成立(ペリー来航)～経済の発展と国民生活の変化まで ⑤日本文化の黎明～中世国家の形成(院政期)まで ①～④いずれか1つのコースを選択してください。 ※①・②は1年生あるいは2年生からの年代の古い順からの履修に対応, ③は3年生からの年代の古い順からの履修に対応, ④は近・現代履修ののち原始に折り返しての履修に対応。	センター試験に準拠した形式で、政治・社会経済・外交・文化の各分野からまんべんなく出題します。授業や教科書で強調される重要なポイントを中心に、生徒の学力到達度を確認することをねらいとしています。また、センター試験への動機づけになるよう、史・資料を用いて出題します。
地理	地理B	地理情報と地図、地図の活用と地域調査～人口、都市・村落(人口問題、居住・都市問題含む)まで ④現代世界の地誌的考察 ※中学校履修範囲や時事的・常識的事項については、上記出題範囲に関連して出題する可能性があります。	センター試験に準拠した形式で、マーク式の試験に慣れることと基本事項の確認を目的としています。また、図・統計表・写真などを使用しながら地理的思考力を測ります。
公民	現代社会	[必答問題] 青年期・現代の諸課題、政治分野 [選択問題] 第4問(経済分野) 第5問(政治分野) より1題選択	政治分野までが出題の中心になりますが、進捗選択問題を設け、経済分野の問題も選択できるようにします。また、今後の学習の動機づけとなるよう、時事的な視点からの理解を問う問題を盛り込んでいます。
	倫理	[必答問題] 青年期・現代の諸課題、源流思想 [選択問題] 第4問(日本思想(近世まで)) 第5問(西洋思想(総論と合理論まで)) より1題選択	「基礎力から応用力までが測れる出題」をめざしますが、実施時期を考慮し、基礎力の測定に重点を置いて出題します。選択問題は、日本思想と西洋思想のいずれかを必ず選択する形となります。
	政治・経済	[必答問題] 政治分野 [選択問題] 第4問(経済分野) 第5問(政治分野) より1題選択 ※出題範囲に関連する基本事項については、「現代社会の諸課題」の範囲から出題する可能性があります。	政治分野が出題の中心になりますが、進捗選択問題を設け、経済分野の問題も選択できるようにします。マーク式で基本的な事柄を問うことによって、現時点での学習到達度の測定とセンター試験への動機づけをねらいとしています。
	倫理、政治・経済	[必答問題] (倫理分野) 源流思想 (政治・経済分野) 政治分野 [選択問題] (倫理分野) 源流思想、日本思想、西洋思想より1題選択 (政治・経済分野) 政治分野、経済分野より1題選択	「倫理」および「政治・経済」との共通問題により、各科目における学習到達度を測定することに重点を置いて出題します。また様々な履修進度を想定し、選択問題による対応を行っています。

※3 地歴は日科目のみを出題し、「世界史A」「日本史A」「地理A」を入試での受験科目とする生徒への対応は行っていません。ただし、「世界史A」「日本史A」を学習している生徒のうち、「世界史B」「日本史B」を入試での受験科目とする生徒は、近現代を中心とする範囲で受験することができます。同様に、「地理B」においては、「地理A」を学習している生徒もA・B共通の事項で受験できます。
※4 公民2科目受験は、「倫理」と「政治・経済」の組み合わせのみ可能です。公民の「倫理、政治・経済」は、「倫理」から2大問と「政治・経済」から2大問の受験となります。

●選択問題● 詳細は問題冊子をご参照ください。

世界史B・日本史Bは、問題冊子の選択指示と異なる大問を解答した場合も採点を行います。

教科	科目・コース	選択問題
地歴	世界史B	大問1~4 または、大問1, 5, 6, 7を選択
	日本史B	大問3~10 ⇒ 3題を選択
	地理B	全問必答
公民	現代社会	大問4, 5 ⇒ 1題を選択
	倫理	大問4, 5 ⇒ 1題を選択
	政治・経済	大問4, 5 ⇒ 1題を選択
	倫理、政治・経済	大問2~4 ⇒ 1題、大問6~7 ⇒ 1題を選択